

事務事業名	幼児教育振興推進事業	整理番号	11106-000
所 管	学校教育課 教育指導スタッフ		

事務事業の位置付け

期間	平成 12年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	御殿場市幼児教育振興計画 御殿場市幼児教育振興推進連絡委員会要綱
基本計画における位置付け	基本政策 政 策	1-1 心豊かな人づくり 1-1-1 乳幼児期の教育の充実	関連 政策

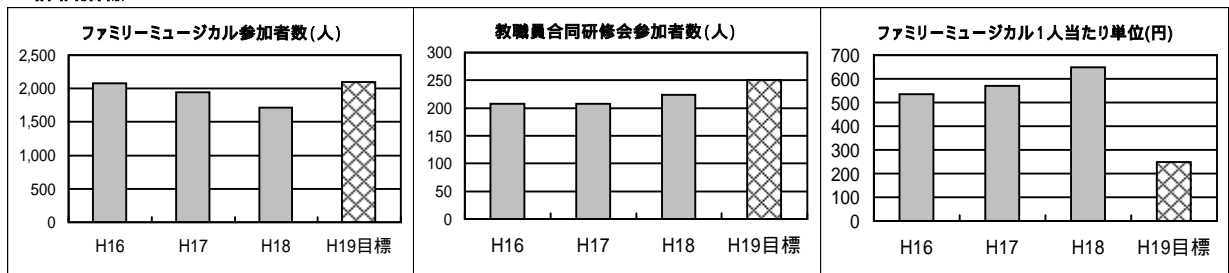
事務事業の内容

目的 (何のために)	御殿場市幼児教育振興計画に基づき、幼児教育振興に必要な事項の実態調査・研究を行い、子どもたちの健全育成を推進する。
対象 (誰・何を)	・市内在住の幼児とその保護者（ファミリーミュージカル） ・市内幼稚園・保育園・小学校教職員及び幼児教育振興推進連絡委員会等（合同研修会）
手段 (どのようなやり方で)	・「親と子のためのファミリーミュージカル」の上演（午前・午後の2回） ・「幼稚園・保育園・小学校教職員合同研修会」の実施（講演、実践発表、分科会）
成果 (どのような状態にしたいか)	多くの参加者を得て、親子のふれあい・マナーの育成・本物にふれる（ファミリーミュージカル）、家庭・地域・関係機関がそれぞれ何ができるか考える・連携の重要性を認識する（合同研修会）等、幼児教育の振興、子どもたちの健全育成の推進となった。
事務事業の背景・住民の意向	多くの参加者から、好評を得ている。今後の本事業の継続を望む声も多い。（アンケートの結果から）それとともに、合同研修会は地域や校区での具体的活動にも広がっている。
見直し改善の経過	さらに充実・発展したものになるよう、ファミリーミュージカル・合同研修会の内容の検討をしていく。

事務事業の実績・投入コスト

年度	事務事業実績	投入コスト(千円)
平成16年度	・親と子のためのファミリーミュージカル上演 ・幼稚園・保育園・小学校合同研修会（基調講演・分科会）実施	
平成17年度	・親と子のためのファミリーミュージカル上演 ・幼稚園・保育園・小学校合同研修会（実践発表・分科会）実施	
平成18年度	・親と子のためのファミリーミュージカル上演 ・幼稚園・保育園・小学校合同研修会（実践発表・分科会）実施	

評価指標



事務事業の評価

観点別・一次評価（担当部署の評価）	コメント	
観点別評価	必要性	少子化対策の一つでもある子育て支援と幼児教育の充実さらには幼児教育と小学校とのスムーズな接続という視点でも絶大な成果を上げている。本事業の研修の積み上げから、市内のすべての中学校区で、幼・保・小・中の連携研修が組織化され推進されている。園、学校、保護者、地域社会からも期待が寄せられている。
	有効性	
	効率性	
一次評価	A	今後の方向性 継続
二次評価（行政評価委員会の評価）	コメント	
二次評価	B	小中幼保の教諭の研修が確立されたこの事業は推進していくべきだと考えるが、幼児のミュージカル部分は他課の事業との統合などを検討されたい。
		今後の方向性 手段改善

改革プラン

平成19年度からの対応	合同研修会：研修会の成果をさらに地区ごとの実践的活動につなげていくよう、学校・園・家庭・地域等の連携をめざした地区別研修会の実施を推進していく。 ファミリーミュージカル：親と子のふれあい・マナーの育成等の実施目的をパンフレット・館内放送等を通し、参加者に意図的に伝えていく。
平成20年度以降の対応	合同研修会：講演会を実施し、学校・園・家庭・地域等の連携を深めたり、広げたりするため、近隣市町の先進地区の実践を聴く。 ファミリーミュージカル：親と子のふれあい・マナーの育成・子育て支援の推進等の実施目的をパンフレット・館内放送等を通し、参加者に意図的に伝えていく。社会教育課青少年健全育成と連携をし、幅広く市民がかかわった事業に転換していく。
改革により予想される成果	学校・園・家庭・地域等の連携を深め、より一層の市民ぐるみの幼児教育・子育て支援の充実。